

経営評価シート

1. 団体の基本的情報							
団体名	(公財)アクロス福岡			設立年月日	平成6年8月10日		
所在地	福岡市中央区天神1丁目1番1号						
出資総額	3,000千円		主な出資者	出資額	出資割合		
県出資額	2,000千円		福岡市	1,000千円	33.3%		
県出資割合	66.7%			千円	%		
				千円	%		
設立目的等	国際・文化・情報の交流拠点施設であるアクロス福岡の有する機能を一層高めるよう支援するとともに、総合的な文化・情報の交流ネットワークを推進し、福岡県における文化の振興並びに文化に関する情報の提供及び交流の促進を図り、もって県民の文化の向上と地域社会の活性化に寄与する。						
現状の主要事業の内容							
事業名	事業内容						
施設サービス事業	・各種ホールや会議室などの貸出						
文化振興事業	・芸術性の高い良質の音楽・舞台芸術の鑑賞機会の提供 ・演奏者や文化振興の担い手等の育成 ・市町村、企業、大学、文化団体等との連携事業の実施 等						
情報提供事業	・文化観光情報の提供、伝統工芸品の紹介、各種のセミナーや作品展の実施						
事業実績に関する情報	単位	H28	H29	H30	R1	R2	備考
施設サービス事業収入	円	581,204,382	602,909,205	608,491,406	541,994,379	237,655,584	
文化事業実施件数(共催、協賛含む)	件	99	98	103	77	40	
匠ギャラリー来場者数	人	124,938	99,593	93,107	86,156	54,332	
2. 団体の組織・人員情報							
代表者名	代表理事	本田 正寛		区分	- 非常勤		
常勤役員名	業務執行理事	重松 典子		区分	県OB 支配人兼務		
		H28.4.1	H29.4.1	H30.4.1	H31.4.1	R2.4.1	R3.4.1
常勤役員数(※)		1名	1名	1名	1名	1名	1名
職員数	常勤(正規)	3名	3名	3名	1名	3名	3名
	うち プロパー	-	-	-	-	-	-
	嘱託(常勤・非常勤)等・臨時	28名	28名	30名	28名	27名	26名
	合計	31名	31名	33名	29名	30名	29名
増減の主な理由							
<令和3年度> 嘱託職員退職により1名減27名→26名							
3. 県関与の状況							
人的支援 (常勤役員再掲)(※)		H28.4.1	H29.4.1	H30.4.1	H31.4.1	R2.4.1	R3.4.1
	県派遣	3名	3名	3名	1名	3名	3名
	県OB	1名	1名	1名	1名	1名	1名
財政支出		H28	H29	H30	R1	R2	備考
	出資金	-	△198,000千円	-	-	-	出資金相当額の返戻
	貸付金	-	-	-	-	-	
	補助・負担金	-	-	-	-	-	
	委託料	289,457千円	274,281千円	286,605千円	442,390千円	512,643千円	
4-①. 中期経営計画における改善に向けた取り組みの方向性(H29～R3)							
財団の運営方針である第4次中期経営計画(平成28年度～令和2年度)に基づき、県民のみならず、年々増加している海外からの訪問客も視野に入れ、中期経営計画の「6つの取り組み方針」に沿って、事業の一層の充実と推進、県民満足度を高めるサービスの向上、自主・自立的な運営体制の確立、財政基盤の強化を図る。							

※役員改選を理由とする年度当初の一時的な減は、反映していない。

4-②. 中期経営計画における改善目標の達成状況										
改善目標の区分(視点)	目標達成に向けた具体的な取組、戦略等	指標	単位	上段:計画 下段:実績					改善目標区分の達成に向けた2020年度(R2)の取組状況	
				2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)		2021(R3)
事業活動・住民サービス (計画性 公益性 等)	①文化振興事業の実施や貸館誘致活動の強化により、多くの方に良質なサービスを提供する。	文化振興事業来場者数	人		160,000				160,000	・文化振興事業来場者数 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、来場者数が減少する中、感染防止対策を行い小学校への派遣演奏を実施するなど、芸術文化に触れる機会を絶やさないよう努めた。 また、緊急事態宣言解除後も財団が主催する自主事業については、客席を収容定員の50%で設定するなど独自の取組みを継続した。 ・匠ギャラリー来場者数 入り口での検温や密にならない呼びかけをするなど安心して鑑賞できるような対策を行いながら、国指定伝統工芸品7品目、特産工芸品等34品目の常設展示や企画展を実施した。 ・施設稼働率 利用者に対し、コロナ禍における施設の使用方法についての事前説明や大規模大会等の実施における感染症拡大防止対策の提案など、安心して施設を利用できるよう情報提供を行った。 また、ニーズ・要望等のヒヤリングを実施するとともに、WEBを活用した新たな運営手法を提案し、利用促進を図った。 ・ホームページアクセス件数 感染拡大に伴い、年間を通じて、様々なイベントが中止となったことや外出自粛の傾向もあり、年間のアクセス件数は減少した。 一方で、新たな試みとしてWEB配信の公演を実施するなどコロナ禍での新たな取組みも実施した。
		匠ギャラリー来場者数	人		130,000				130,000	
		福岡シンフォニーホール稼働率	%		85.0				85.0	
		国際会議場稼働率	%		75.0				75.0	
		大会議室稼働率	%		85.0				85.0	
		ホームページアクセス件数	件		950,000				950,000	
					845,648	849,490	1,006,472	1,092,108	720,175	
財務会計 (経済性 効率性等)	①安定した財政基盤を維持する。 ②中長期的な収支計画の策定と事後評価の実施により、経費を削減し県財政負担率を削減する。	正味財産比率	%		69.0				69.0	・自主財源比率(県財政支出率) 緊急事態宣言下の新規予約受付中止やキャンセル料減免等の措置に伴い、県からの財政支出が増加したことから、収入に占める県財政支出率が増加した。 ・利用料金収入 コロナ禍におけるキャンセル料減免措置や、緊急事態宣言下の新規予約受付中止、主催者による催事の自粛により稼働率が大幅に低下し、利用料金収入が減少した。 ・入場料収入率 感染症拡大の影響で、対象となる主催事業で開催ができた公演は1件のみであった。また、その公演も8月から3月に延期開催となり、延期に伴う経費が増加したこと、収容率50%での開催によりチケット収入が減少したことから目標を下回った。 ・人件費率 人件費は前年度から4,719千円減少したが、経常収益が前年度から▲228,673千円と大幅に減少したため、人件費率が上昇し目標を下回った。
		県財政支出率(※1)	%		24.5				24.5	
		自主財源比率(※1)	%		75.5				75.5	
		利用料金収入	百万円		615				615	
		入場料収入率(※2)	%		65.0				65.0	
		人件費率(※1)	%		15.8				15.8	
				15.6	14.5	14.6	15.3	19.3		
③県の行革大綱に係る基本財産の見直し	基本財産の見直し(県出資相当額の返戻)	千円		実施				実施		
			検討	実施	実施済	実施済	実施済			
内部管理 (健全性等)	①簡素で効率的な組織運営に取り組む	労働契約法の改正に伴う規程等の整備	-		検討			実施	・平成30年4月1日付けで就業規則の改正を行った。	
			-	実施	実施済	実施済	実施済			
達成状況(まとめ)										
<p>・事業活動・住民サービス 新型コロナウイルス感染症の影響により、施設稼働率や来場者数は減少したが、感染拡大防止対策を講じながら、国内のオーケストラ・室内楽公演や小学校へのアウトリーチ事業を実施するなど、質の高い芸術鑑賞の機会を提供した。 また、新型コロナウイルス感染症に対応した会議運営手法を提案するなど工夫を凝らし、積極的な営業活動に取り組んだ。</p> <p>・財務会計 新型コロナウイルス感染拡大防止策として、イベント開催制限等が行われ、事業収益が減少した。また、緊急事態宣言下の新規予約受付中止やキャンセル料減免等の措置に伴う影響額の補填を県から受けたことにより、受託事業収入が増加し自主財源比率が低下した。</p>										

※1 県財政支出率、自主財源比率、人件費率は、県実施の改修受託に係る収入、支出を除外して算出したもの。

※2 評価対象は当団体主催のチケット収入のみ。

5. 経営状況(公益法人)							
項目	単位	H28	H29	H30	R1	R2	
【貸借対照表】							
資産合計	千円	1,217,001	959,054	917,887	867,618	818,082	
うち金銭債権	千円	120,205	59,510	76,404	83,771	121,282	
うち特定資産	千円	563,834	562,891	564,134	560,658	558,656	
負債合計	千円	240,179	266,925	256,802	232,077	145,091	
うち借入金額	千円	-	-	-	-	-	
うち県からの借入金額	千円	-	-	-	-	-	
正味財産合計	千円	976,822	692,130	661,085	635,541	672,991	
県債務保証額又は損失補償額	千円	-	-	-	-	-	
県損失補償債務残高	千円	-	-	-	-	-	
団体債務保証額	千円	-	-	-	-	-	
【正味財産増減計算書】 Sheet4 法人全体より転記							
経常収益 A	千円	1,008,261	1,013,238	1,079,607	1,107,229	773,817	
うち県財政支出額 B	千円	289,457	274,281	286,605	442,390	512,643	
内訳:補助負担金	千円	-	-	-	-	-	
内訳:委託料	千円	289,457	274,281	286,605	442,390	512,643	
うち最も多額な項目	項目名	施設サービス事業収入	施設サービス事業収入	施設サービス事業収入	施設サービス事業収入	施設サービス事業収入	
	千円	581,204	602,909	608,491	541,994	237,656	
経常費用 C	千円	998,348	1,000,900	1,110,652	1,132,773	736,367	
うち人件費総額 D	千円	149,892	142,180	150,578	148,982	144,263	
評価損益等合計額 E	千円	-	-	-	-	-	
経常増減額 F=(A-C+E)	千円	9,913	12,338	△ 31,045	△ 25,544	37,450	
経常外損益 G	千円	-	-	-	-	-	
法人税、住民税及び事業税 I	千円	-	-	-	-	-	
当期一般正味財産増減額 J=(F+G)-I	千円	9,913	12,338	△ 31,045	△ 25,544	37,450	
当期指定正味財産増減額 K	千円	23	△ 297,030	-	-	-	
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 L	千円	289,457	76,281	286,605	442,390	512,643	
【財務指標】							
正味財産比率	%	80.3	72.2	72.0	73.3	82.3	
県財政支出率(=B/A)	%	28.7	27.1	26.5	40.0	66.2	
人件費率(=D/A)	%	14.9	14	13.9	13.5	18.6	
収益事業比率	%	34.8	32.2	29.3	33.4	32.5	
受託事業外注費比率	%	39.9	50	68.7	43.1	5.2	
【団体毎の経営評価指標】							
自主財源比率	%	71.3	72.9	73.5	60.0	33.8	
施設利用率(福岡シンフォニーホール)	%	80.0	83.7	85.6	78.3	38.5	
文化公演来場者数	人	188,172	173,586	175,830	166,212	37,730	
【常勤役職員の報酬・給与に関する状況(R2年度)】							
常勤役員平均年齢	61.0歳	常勤役員平均年収	7,215千円	常勤職員平均年齢	56.0歳	常勤職員平均年収	8,628千円
【経営状況に関する各数値、指標の増減理由】							
<p>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により施設サービス事業収入が減少し、経常収益が減少した。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で設備の修繕に必要な物品が入手できなかったことにより、修繕費が減少し、正味財産が増加した。</p> <p>・海外からの来日が制限され、海外演奏家の公演が中止又は延期となったため受託事業外注費比率は減少した。</p>							
6. 団体(経営責任者)の自己点検評価							
<p>・新型コロナウイルス感染症の影響で主催公演等の中止や貸館の稼働率低下などの厳しい状況下ではあったが、業種別ガイドラインに沿った感染予防対策を徹底し、可能な範囲で事業を実施した。指定管理期間(平成28年度～令和2年度)の最終年度として、「第4次中期経営計画」に基づき、利用者サービスの向上に努めた。</p> <p>・施設サービス(貸館)事業については、利用者に対し、コロナ禍における施設の使用方法についての事前説明や大規模大会等の実施における感染症拡大防止対策の提案など、安心して施設を利用できるよう情報提供を行った。また、施設利用に係る打合せや施設利用時にニーズ・要望等のヒヤリングを実施するとともに、通常の会議とWEB会議を組み合わせた会議方法等の運営手法を提案し、利用促進を図った。</p> <p>・文化振興事業は、海外からの演奏家の来日が困難となり、鑑賞型の事業の大半が中止となった。また、不特定多数の観客を集める事業も実施困難となり事業計画の変更を余儀なくされた(計画100事業→実施40事業)。一方、感染対策を取りながら小学校へのアウトリーチを実施するなど、芸術文化に触れる機会を絶やさないように努めた。</p> <p>・情報提供事業については、メールマガジンやSNSを活用して情報発信を行ったが、イベントの数の減少等外出自粛の傾向もあり「アクロスおでかけナビ」への訪問件数は減少した。地域・伝統文化の活動支援として、コロナ禍で展示販売の機会が激減している県内の職人を応援するため、国や福岡県が認定する工芸品を展示販売する「工芸品マルシェ」を実施した。</p> <p>・経営状況については、貸館の利用料金収入やチケット収入が大幅に減収する中、県の財政支援を受けるとともに、各事業経費の節減に努め、財政基盤の維持に努めた。</p>							

7. 外部専門家の意見

- ・文化振興事業の来場者数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、前年度より大きく減少し、中期経営計画における改善目標を下回っている。
- ・福岡シンフォニーホールなど主要施設の稼働率及び利用料金収入についても、前年度から減少し中期経営計画における改善目標を下回っている。
- ・今後、感染症対策に配慮した上で、新しい生活様式を踏まえオンラインの活用等を含め、県の文化芸術の振興に向けた新たな取組の検討及び実施が求められる。

8. 経営評価委員会による経営評価結果

- ・中期経営計画における改善目標については、昨年度同様、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、多くの項目で目標に達しなかった。今後も新型コロナウイルス感染症の影響が見込まれるが、引き続き目標達成に向けた努力が望まれる。
- ・施設サービス事業では、施設利用率が感染症の影響により減少する中、感染症に対応した会議運営手法を提案するなど工夫を凝らし、積極的な営業活動に取り組んだ。今後も引き続き、感染症対策を行いながら、施設の利用促進を図りたい。
- ・文化振興事業では、感染症の影響で多くの事業が中止となる中、小学校への派遣事業を実施するなど、芸術文化に触れる機会を創出した。令和3年度はシンフォニーホールが工事により閉館しているため、感染対策を行いながら、引き続きアウトリーチ等、芸術文化に触れる機会の創出に取り組まれない。
- ・情報提供事業は、感染症の影響により、「アクロスおでかけナビ」への訪問件数は減少した。今後も感染症の影響が見込まれるため、引き続き訪問件数の増加に取り組まれない。

(注)表示単位未満四捨五入の関係で、数式による算出値と表示が一致しない場合がある。

5-②. 経営状況(内訳表)							
項目	単位	H28	H29	H30	R1	R2	
【正味財産増減計算書】							
法人全体 (①)③	経常収益 A	千円	1,008,261	1,013,238	1,079,607	1,107,229	773,817
	うち県財政支出額 B	千円	289,457	274,281	286,605	442,390	512,643
	内訳:補助負担金	千円	-	-	-	-	-
	内訳:委託料	千円	289,457	274,281	286,605	442,390	512,643
	うち最も多額な項目	項目名	施設サービス事業収入	施設サービス事業収入	施設サービス事業収入	施設サービス事業収入	施設サービス事業収入
		千円	581,204	602,909	608,491	541,994	237,656
	経常費用 C	千円	998,348	1,000,900	1,110,652	1,132,773	736,367
	うち人件費総額 D	千円	149,892	142,180	150,578	148,982	144,263
	評価損益等合計額 E	千円	-	-	-	-	-
	経常増減額 F=(A-C+E)	千円	9,913	12,338	△ 31,045	△ 25,544	37,450
	経常外損益 G	千円	-	-	-	-	-
	法人税、住民税及び事業税 I	千円	-	-	-	-	-
	当期一般正味財産増減額 J=(F+G)-I	千円	9,913	12,338	△ 31,045	△ 25,544	37,450
	当期指定正味財産増減額 K	千円	23	△ 297,030	-	-	-
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 L	千円	289,457	76,281	286,605	442,390	512,643	
公益目的 事業会計①	経常収益 A①	千円	647,678	675,487	751,911	728,630	513,331
	うち県財政支出額 B①	千円	199,725	215,585	222,119	316,751	358,338
	内訳:補助負担金	千円	-	-	-	-	-
	内訳:委託料	千円	199,725	215,585	222,119	316,751	358,338
	うち最も多額な項目	項目名	施設サービス事業収入	施設サービス事業収入	施設サービス事業収入	施設サービス事業収入	施設サービス事業収入
		千円	327,436	335,557	359,044	297,756	134,575
	経常費用 C①	千円	699,917	709,759	817,670	799,312	500,931
	うち人件費総額 D①	千円	120,063	113,633	121,817	120,527	116,709
	評価損益等合計額 E①	千円	-	-	-	-	-
	経常増減額 F①=(A①-C①+E①)	千円	△ 52,240	△ 34,273	△ 65,760	△ 70,682	12,399
	経常外損益 G①	千円	-	-	-	-	-
	他会計振替額 H①	千円	32,383	25,535	19,683	26,177	16,534
	法人税、住民税及び事業税 I①	千円	-	-	-	-	-
	当期一般正味財産増減額 J①=(F①+G①+H①)-I①	千円	△ 19,856	△ 8,738	△ 46,076	△ 44,505	28,933
当期指定正味財産増減額 K①	千円	20	-	-	-	-	
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 L①	千円	199,725	215,585	222,119	316,751	358,338	
収益事業 等会計②	経常収益 A②	千円	350,787	326,002	316,474	369,500	251,408
	うち県財政支出額 B②	千円	84,521	46,628	52,449	115,906	145,078
	内訳:補助負担金	千円	-	-	-	-	-
	内訳:委託料	千円	84,521	46,628	52,449	115,906	145,078
	うち最も多額な項目	項目名	施設サービス事業収入	施設サービス事業収入	施設サービス事業収入	施設サービス事業収入	施設サービス事業収入
		千円	254,582	268,190	250,263	244,872	103,230
	経常費用 C②	千円	286,020	274,932	277,107	317,584	220,226
	うち人件費総額 D②	千円	23,983	23,040	22,888	22,645	21,928
	評価損益等合計額 E②	千円	-	-	-	-	-
	経常増減額 F②=(A②-C②+E②)	千円	64,767	51,070	39,367	51,915	31,183
	経常外損益 G②	千円	-	-	-	-	-
	他会計振替額 H②	千円	△ 64,767	△ 51,070	△ 39,367	△ 52,353	△ 33,068
	法人税、住民税及び事業税 I②	千円	-	-	-	-	-
	当期一般正味財産増減額 J②=(F②+G②+H②)-I②	千円	-	-	-	△ 438	△ 1,885
当期指定正味財産増減額 K②	千円	-	-	-	-	-	
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 L②	千円	84,521	46,628	52,449	115,906	145,078	
法人会計③	経常収益 A③	千円	10,610	12,586	12,038	9,733	9,228
	うち県財政支出額 B③	千円	5,210	12,068	12,037	9,733	9,228
	内訳:補助負担金	千円	-	-	-	-	-
	内訳:委託料	千円	5,210	12,068	12,037	9,733	9,228
	うち最も多額な項目	項目名	基本財産運用収入	基本財産運用収入	基本財産運用収入	基本財産運用収入	基本財産運用収入
		千円	5,400	518	1	-	-
	経常費用 C③	千円	13,224	17,046	16,690	16,510	15,360
	うち人件費総額 D③	千円	5,846	5,507	5,873	5,810	5,626
	評価損益等合計額 E③	千円	-	-	-	-	-
	経常増減額 F③=(A③-C③+E③)	千円	△ 2,614	△ 4,460	△ 4,652	△ 6,777	△ 6,132
	経常外損益 G③	千円	-	-	-	-	-
	他会計振替額 H③	千円	32,383	25,535	19,683	26,177	16,534
	法人税、住民税及び事業税 I③	千円	-	-	-	-	-
	当期一般正味財産増減額 J③=(F③+G③+H③)-I③	千円	29,770	21,075	15,031	19,399	10,402
当期指定正味財産増減額 K③	千円	3	△ 297,030	-	-	-	
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 L③	千円	5,210	△ 185,932	12,037	9,733	9,228	

(注)表示単位未満四捨五入の関係で、数式による算出値と表示が一致しない場合がある。